

村半利活用検討会（令和2年度第4回）結果報告

日時 令和2年12月25日(金)16時00分～17時20分

場所 村半 大会議室

出席者 検討会メンバー6名、事務局(企画課)2名、村半スタッフ1名

内容

1. 開会あいさつ

- ・前回の検討会において検討課題となった事項について改善など対応を進めているところ

2. 報告事項

(1) 利用登録の状況について

個人(うち学生の内訳)、団体登録について、資料に基づき説明

(2) 利用者等実績について

利用者(供用、占用)及び一般開放による入所者数、占用利用の状況について、資料に基づき説明

利用者、占用利用ともに開所した7月から徐々に増えてきたが11月、12月は減少している
中学生の利用が多く見られるようになってきた

3. その他

村半が主催となって12月以降に実施する2つのイベント等の紹介

<意見交換、質疑> メ:構成メンバー、事:事務局

メ:台所で男子高校生達がパスタとミネストローネスープを作っていたので会話を楽しんだが、こういった利用があって交流ができることは良いことだと思った

メ:1月に講師料を徴収するSDGs 勉強会を村半で行うと紹介があったが、昨年の検討会で、講師主催だと営利目的と考えられるが、参加者主催で講師を呼ぶのであれば占用利用で良いのではとの議論があったがどちらか

事:参加者主催である

メ:雪よけについて、このあたりは自分の家の前だけではなく隣の家の雪もよけるため、村半の前もこれまでどおり気づいたときに近所の者が雪よけを行う

事:職員でも対応するが、早朝などは難しいためご協力に感謝している

メ:かまどの利用マニュアルを作成されたが、発火した時の対応、閉所する際の点検の仕方など火の始末は本当に気を付けてもらいたい

事:十分注意する

メ:利用者と掃除する企画について、写真を貼る以外に一言書いてもらうのはどうか。とてもよいアイデアだと思うため、来年以降も続けていけると良い

事:そのように考えている

メ:自分が高校生の時は歴史や文化には興味がなかった。高校生は未来のほうに目が向いているため、文化や伝統にはあまり興味を持ってないのではと思っていた

メ:整備前はそこまで利用者があるのかわからなかったが、運営側の努力もあり、良い施設に巡り会えて今の子どもたちは幸せと思う。FRH(フラッグシップハイスクール)でも歴史文化についてのテーマがある。小学生の頃からの郷土学習の流れを汲んでいるため、どういう感覚で向き合うかは人それぞれ違うと思うが、昔よりも地域のことなどを考えている学生が多いのではないかと。未来を見据えながら飛驒と

のつながりを常に持ってFRHも進めている

メ:文化協会では市内の高校にも参加いただき、正月の飾り物展を実施している。学生による今風な発想の飾り物と高齢者による昔ながらの飾り物と一緒に展示している。高齢者が学生の飾り物に対して「なんだあれは？」などと言っているが、それが良いと思っており、伝統を続けていくには一度壊してみることが大事と思う。今の高校生は素晴らしい

メ:村半で会った大学生が、大学で外に出たら飛騨での経験がありがたかった、様々な事を良い経験として話せるのがとてもうれしいと言っていた

事:勉強するだけの場所ではないと思っており、コロナ禍で難しい状況にあるが、様々な人と交流するなかで地域の歴史や伝統文化を知ることが大事だと思っている

メ:今後、村半から仕掛けていこうと検討していることはあるか。また、利用者トラブルなど新たな問題はなかったか

事:まだ内部で詰めていないが、地域の歴史文化や伝統行事などについて学生に実体験を持って知ってもらうことができないかと思っている

利用者トラブルについては特段のケースはなかった。精神的に不安定な利用者が定期的に入入しているが、学生が部屋で1対1になった時など様子を伺ったり、違う部屋を案内するなど、トラブルにならないよう配慮している

メ:コロナ対策が充分であるか3点確認したい。①体温計が調子悪くて測れないと聞いている。②台所調理について、この冬の時期はノロウイルスも心配されるが、衛生面はどうしているか。③保健所の許可がないのに調理すること自体問題はないか

事:①体温計を温める対応をしているが、この寒さでは外と同じ施設入口で正常な体温を測れないのではとも思っている。イベント主催者には体温計を持参して室内で計ることも含め案内している。②1日に複数回アルコール消毒を行っており、使用された食器もスタッフがもう一度洗って除菌する対応で統一している。③作った食事を販売している訳ではないため、公民館や自宅で調理することと同じと思っている。マスク着用や食事時の会話などについて注意喚起している。今後、市内の感染状況によっては対応を変更する可能性もある

メ:調味料の共有は十分に注意してほしい。また、入所する際にマスクを取っている子を見かけるが、声掛けや注意をしてほしい

事:対応していると思っているが、引き続き十分注意する

メ:体温測定については、肌の表面が冷えている状態での測定は難しいと思う。おでこではなく、腕だと測定できることがある

メ:自転車での来所者について、台数に限りがあることで利用を控えるなどといった影響はあるか

事:以前、利用者が安川通りなどに駐輪していることを指摘されたため、利用者に啓発を行い認識されてきている。駐輪台数が少ないことによる影響はあるのではと思っており、課題と思っている

メ:寄贈された照明については、寄贈の際に村半以外へ設置場所を変更することについて了承を得ているか。特定の事業者のショールームのように見なされていないか気になる。工業高校生が作成した家具についてはいつまで使用するのか。2年程で返却して次の高校生に作ってもらうといったサイクルとしても良いのでは

メ:自分が作ったものが、何十年経った後にも使用されていることを自分の家族等に伝えることができると良い。思い出にもなる。大事にしていくことも良いのでは

事:建物にふさわしいものの寄贈の申出があればどの事業者からでも受領はありえるため、特定のという考えはない。寄贈いただいた照明の所有権は市にあるため、よりふさわしい場所があれば、寄贈者に断わって移動する可能性もありえる。工業高校生が作成した家具について、返却はできないため使える限りは大切に使っていきたい。村半内の別の場所に保管して入替制とすることも考えられる。原材料費の予算も確保しており、継続的に取り組んでいきたいという思いもあるがスペースの問題もあり難し

いところである

メ: 寄贈を拒むことはしないのか。ふさわしいというのは感覚的なものであり判断が難しいため、線引きをしておいたほうがよい

事: 寄附採納は金額により決定権者が定められており、明確な線引きは難しいが寄附を受けない判断をすることもある

4. 閉会あいさつ

長時間にわたって熱心な議論に感謝、意見はより良い運営に生かしていきたい

今年は開所し、お陰様でまずは順調にスタートできたと認識しており、引き続きご協力をお願いしたい

以上